



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2760

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

276◎通信

ガバナー月信
JUNE 1995

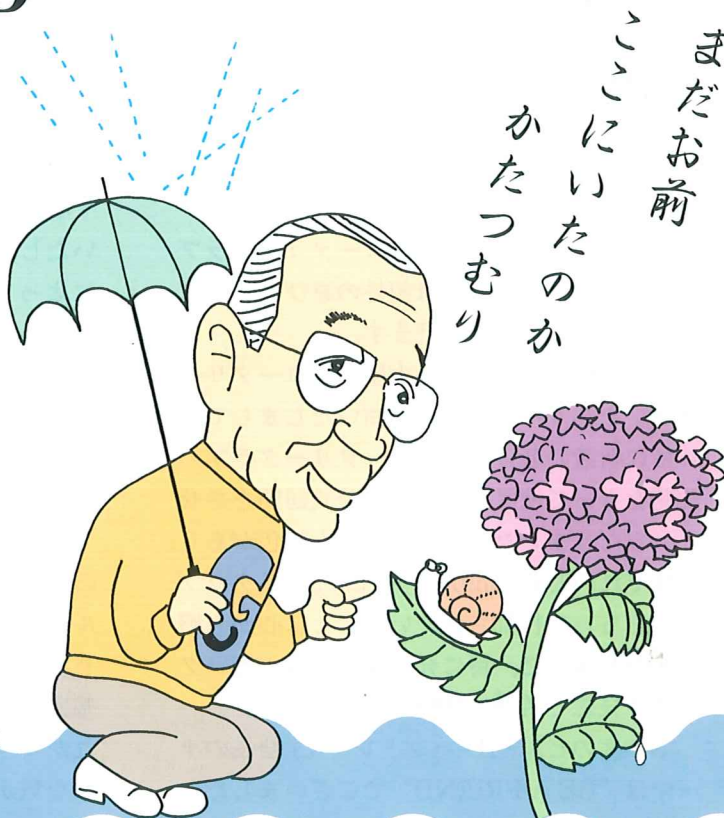
NO. 13

1994～1995年度、国際ロータリー会長のテーマ

BE A FRIEND

友達に なろう。

R.I.会長/ビル H. ハントレー



1994～1995年国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

事務所/〒451 名古屋市西区穂の口町3-19

ホテルナゴヤキャッスル 427号室

TEL.(052)521-2121 FAX.(052)523-1998

太い幹から大きく枝を広げ、そこから次 R.I.D-2760は大樹に育っていることを 私

ガバナーとしての任務もあと1カ月と少しです。1994-'95年度のロータリーの活動を振りかえって考えてみたいと思います。

非才の私が、何とか無事にここまで当2760地区の伝統を保守できましたのは、いつにかかって地区の役員の方々、各ロータリークラブの会長をはじめロータリアン各位のご協力、ご努力のお陰と御礼を申し上げます。

特に環境保全、青少年活動、米山記念奨学会、ロータリー財団、W.C.S.活動等々、皆様のご努力は枚挙に暇がありません。本年度より新設いたしました『MAKE-UPニコボックス』も2,000万円以上のご協力を賜りました。さらに本年度は、名古屋港ロータリークラブのご努力により名古屋西南ロータリークラブが発足できましたことは望外の喜びであります。心から感謝申し上げます。

さて、昨年7月14日名古屋守山ロータリークラブを初ガバナー公式訪問いたしまして、6月に新設の名古屋西南ロータリークラブの訪問をもって地区73クラブの公式訪問をさせていただきました。どのクラブも特色があり、それぞれFellow Shipに、奉仕にと、各クラブ個性をもって行動されていることに心から感激いたしました。特に発足5年前後の若いクラブの発想と活力に賛嘆いたしました。

本年度のビル・H・ハントレーR.I.会長のテーマは“BE A FRIEND”でございました。私どもガバナーにとりましては、「我が意を得たり」というような素晴らしいテーマでした。

日本語訳では「友達になろう」とありましたが、どこか意味が違うような気がいたしました。公式訪問では日本語訳は使わないようにいたしました。皆様も一度“BE A FRIEND”と口ずさんで考えて見て下さい。考えれば考えるほど深い大らかな人間の心を感じてきませんか。しいて日本語に訳すならば“友たれ”が率直な訳と私は考えます。「友達になろう」とは少し意味が違うように私には感じられるのです。易しい英語ならば、原語で与えていただいた方が、はるかにすっきりする気がいたします。

このようにして考えて見ますと外国語を訳す場合、非常に難しい問題を含んでいる気がいたします。民族の習慣、歴史、国民性などによって意味が難しく考えられます。“Fellow Ship”という言葉が大正ロータリーアンは「親睦」と翻訳されました。「親睦」とは仲のよい状態を表すのであり、“Fellow Ship”とはどこかぴったりしません。

ポール・ハリスが育てられた清教徒の祖父ハーワード・ハリス、祖母パメルの躰は、質素、儉約、勤勉、知足、寛容、自己犠牲の心、これらの品性を基底とした人間と人間との連帯感、これがロータリーの“Fellow Ship”のよ

うな気が私はします。
“Fellow Ship”とは、友情と寛容、そして長い時間の間に育てられるもの



から次へと新芽が吹き出すように、 は一年を通じて確信しました。

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

と考えられます。

現在のロータリアンは、「親睦」を鵜呑みにして年寄りの親睦会のようにお互いに討論を控えて和を保つことに汲々としているように思えてなりません。もっと生き生きとした発想と討論を各クラブは必要としているのではないのでしょうか？

また、“Service Above Self”の日本訳として「超我の奉仕」とされておりますが、これ

は誤解を生む言葉
と思えてなりません。ロータリー
の奉仕は、各
ロータリアンが
仕事に専念し、
隆々とした職業
をもち、また自
分の体も命

も大切に、余裕をもって、世のため、人のために尽くすのがロータリーの奉仕であり、「超我の奉仕」という言葉は自己犠牲を要求しており、その自己犠牲の程度によってはロータリアンに重苦しい意識を与えていると思います。ロータリーとは、もっと明るく、伸び伸びした気持ちで社会と接していくのが好ましいように思います。来年のテーマは、

“ACT WITH INTEGRITY”「真心の行動」

“SERVE WITH LOVE”「慈愛の奉仕」

“WORK FOR PEACE”「平和に挺身」

とされておられますが、R.I.会長のテーマに翻訳者の自己感情を入れすぎているのではなかろうか？ロータリアンを重苦しい宗教的、また使命的な道德感で縛りすぎているのではなかろうか？と私は思います。

時代とともにロータリーは改革されなければなりません。明るく行動的で、気負いすぎる事なく、伸び伸びとしたロータリアンの善意を、世のため、人のために尽くして、大きなことを言わずに気楽に生きていきたいと私は思います。

英語を日本語に訳すことは無理があります。

従いまして、私どもが英語のままで理解
をすることに努力すべきではないでしょ
うか？

以上、一年間ロータリー
生活を送った人間の
一人としての雑感で
ございます。

1994～'95年度 第2回地区国際奉仕委員長会議

■日時 平成7年4月5日(水)15:00～17:00 ■場所 名古屋都ホテル3階 金扇の間



明るい将来に直結する成果

地区国際奉仕委員会

委員長 吉村 卯一郎

本年度国際ロータリー第2760地区の第2回国際奉仕委員長会議が平成7年4月5日午後3時から5時まで、名古屋都ホテルにおいて開催されました。会議は蜂谷ガバナー以下22名の特別出席者と地区内70クラブの国際奉仕委員長71名のご参加をいただいて開始されました。

〈会議の内容〉

地区国際奉仕委員会

司会 副委員長 松原 忠久

(1)開催の挨拶 〈要旨〉

地区国際奉仕委員会

委員長 吉村 卯一郎

昨年9月14日の第1回会議開催以来今日までは比較的順調に推移しており、ある程度の成果もあがっている。

青少年交換では14名の派遣準備、12名の学生の受け入れ体制準備も着々と進行している。昨年10月22日～23日には帰国留学生、受け入れ留学生、派遣留学生によるオリエンテーションを兼ねた交流会を愛知県少年自然の家で行い成果をあげた。本年2月4日には青少年交換プログラムの三者懇談会を開催し、受け入れ学生の高校の先生方や、ホストクラブ、ホストファミリーの代表の方々にお集まりいただき、貴重なご意見、体験談、アドバイスなどをいただき非常に有意義であった。

世界社会奉仕(W.C.S.)では、本年2月12日～15日にかけて、フィリピンとタイに贈与と視察を兼ねた訪問を行った。極めて順調裡に諸行事や視察が行われ、成功裡に帰国できた。

国際友好については、本年6月11日からニースで行われる国際ロータリー年次大会に参加して“BE A FRIEND”のテーマのもとに各国のロータリアンと友好を深めていただきたい。

(2)ガバナーの挨拶 〈要旨〉

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

青少年交換は大変な活動で、トラブルも起きたが地区委員の方々には事態の収拾に努めていただいた。W.C.S.はこの地区では連綿たる歴史があり、東洋ゾーンでは最も活躍している一つである。今年もフィリピン、タイに視察旅行に行かれ、ご努力されたことを感謝する。国際友好では非常に難しいことだが、世界平和のために理解し合うよう皆様のご努力で充実した一年にさせていただいた。

また、今年度はガバナーと環境保全委員会でパオにソーラーシステムを贈ったことが大きい活動で現地からも感謝された。

私たちロータリアンは心を合わせて奉仕し、社会がより良くなるよう努力したいと思う。このことを次期国際奉仕委員会の方々にもお伝えいただきたい。

(3)青少年交換の経過報告

地区青少年交換(小)委員会

委員長 林 光雄

現在5名でやっているが、来年度は石川ガバナーノミニーにお願いして、委員を1名増員してもらい、来年度の事業を進めていきたい。

次年度からは愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会の理解と後援をお願いすることにし、教育委員会において各校に青少年交換プログラムを説明していただくことになっている。従って来年度の募集要項を本日早めに配布させていただいた。各学校で説明を受けて応募されてくる生徒のために、各クラブでは十分な申し込み受け入れ体制をぜひ作っていただきたい。各クラブで応募者があった場合には、快く受け入れていただけるような予算措置とご理解を理事会等でお諮りいただきたい。

われわれの想像もできないトラブルがあるので、委員会としては本年度からは特に厳選をし、留学に適した生徒を選びたい。

本年度の活動においては、特に今年2月4日、初の試みとして受け入れ留学生をお世話しているホスト

ファミリー、通学先の高校の先生、ホストクラブの委員長の出席のもとに青少年交換委員会の三者懇談会を開催した。学校側における受け入れ留学生に対する評価は非常に高いように感じられた。

また、長年長野県の第2600地区と合同でスキの集いという催しを行っているが、今年も2月22日～24日に27名が参加して実施、交流を深めた。

(4)世界社会奉仕(W.C.S.)の活動経過並びに地区主催のW.C.S.フィリピン及びタイへの視察旅行報告について

地区世界社会奉仕(小)委員会
副委員長 内田 栄一

W.C.S.活動はタイの第3360地区、フィリピンの第3800地区、第3810地区を対象としているが、本年も寄付金の使用状況を見、寄付金を直接贈呈するため視察旅行を行った。本年はタイとフィリピンそれぞれに分かれて同じ時期にタイへは16名、フィリピンへは11名が参加した。フィリピン・ノーマル大学では、奨学生が本当に心から感謝の言葉を述べたのを聞き、このプロジェクトの意義を痛感した。奨学基金は、愛知ロータリー奨学基金として第3800地区、第3810地区に隔年ごとに各2回にわたって1000万円宛を寄贈することになっている。

活動の対象がフィリピン、タイであることについて議論もされているが、やはり継続が大切である。ただし奉仕の内容、方法については検討を加えなければならない時期に来ていることは確かである。

今後はW.C.S.本来の活動の基本であるクラブ対クラブの活動を重視し、地区対地区の活動としては奨学金制度の充実をはかることが大切であろう。

地区世界社会奉仕(小)委員会
委員 鈴木 敏夫

タイでのプロジェクトは19に及んでいるが、植樹とか社会施設の整備、たとえば小学校内の図書館づくりとか、老人ホーム施設づくりとか、前向きな私たちのプロジェクトが行われている。チェンマイではプロジェクトの懇談会を行った。タイでは日本に対するイメージの考慮から、プロジェクトの内容も日本人のイメージをよくするプロジェクト、いかに地域の住民に受け入れられるかということを重点にやってきたという先方の配慮を聞き、我々なりのプロジェクトの在り方をもう少し研究する必要があるのではないかと思った。

タイにおいても奨学基金制度を準備している。一昨年から毎年200万円ずつ5年間積み立て2000万円

として運営する。まだ機能していないが、4年目頃から本格的に行われる予定である。

(5)国際友好の経過報告

地区国際友好(小)委員会
委員長 伊藤 公正

国際友好は、海外クラブとの姉妹提携制度とロータリー友情交換制度が設けられ、さらに最近R.R.V.F.(趣味職業別親睦活動)がある。

姉妹提携では、昨年12月、地区各クラブからアンケートを得た。それによると72クラブのうち44クラブ(61%)がなんらかの提携交流を結んでおり、全国平均(30数%)より高い率にある。(前年よりクラブ増)

ロータリー友情交換制度は、R.I.に登録されているクラブがR.I.に申し込むと、R.I.で登録クラブのうちから相手先を選定し、紹介されるという制度で、R.I.に登録するには地区の3分の2以上のクラブの賛同が必要であるため、当地区では昨年4月に各クラブにアンケートを行い、了解、賛同をいただき現在正式に登録されている。

(6)講評(要旨)

国際ロータリー第2760地区
ガバナーノミニー 石川 和昌

R.I.の次期会長から来年度のテーマのうち国際奉仕に関係があることとして、ポリオプラスの問題がある。R.I.では10年後の創立100周年を迎える時に、ポリオプラスの成果としてポリオ絶滅宣言を行うことをはかっており、今後10年間にさらに推進する意向である。これは世界社会奉仕にも関連のあることなので、各クラブで奉仕の一端としてどうあるべきか、今後お考えいただきたい。

(7)ホストクラブ会長挨拶

名古屋名北ロータリークラブ
会長 荒川 博司

(8)閉会の挨拶

地区国際奉仕委員会
副委員長 松原 忠久

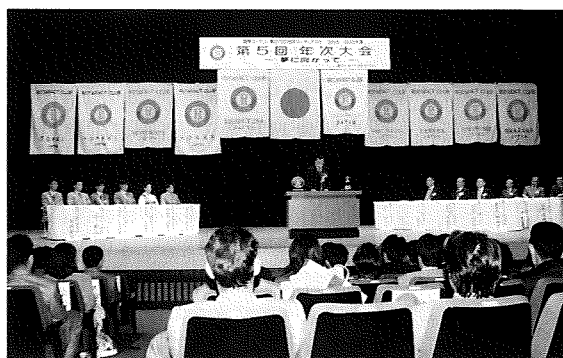
R.I.第2760地区ローターアクト 1994～'95年度年次大会報告

ローターアクト委員会
委員長 野崎洋二

本年度R.A.年次大会は去る4月15日(土)・16日(日)の二日間、蜂谷弘道ガバナー、森武保地区幹事、石川和昌ガバナーノミニーを始め特別出席者並びに多くのロータリアンの方々にご出席賜り、一宮市において、一宮R.A.C.のホストのもと、盛大に開催されました。

まず大会初日は一宮平安殿における前夜祭で幕が開けられました。セレモニーに続き、クイズ「アクトでドン」、メドレー夜のヒットスタジオ Version 「アクトでメドレー」、
「ELDER BROTHER's on STAGE」と多彩なプログラムが生まれ、地区内の9 R.A.C.と特別出演の第2600地区(長野県)のアクター、さらにはロータリアンの方々の参加もあり、各々趣向を凝らした隠し芸が披露され、まさに若人の熱気溢れる祭典が繰り広げられました。

さて、大会二日目は場所を一宮勤労福祉会館に移して本大会が開催されました。本大会は、賑やかだった前夜祭とは違って変わり厳肅な雰囲気の中、光村彰浩地区代表の点鐘によりオープニングされました。伊藤成彦君、柴田英子さんの司会、進行のもとに午前の部では式典の後、現在「トヨタ記念病院」整形外科部長で、Jリーグでご存じのサッカーチ



ーム「名古屋グランパスエイト」のチームドクターとしてご活躍中の高松浩一氏の「チームドクターから見たJリーグ」というテーマで記念講演が行われました。昨今のサッカーブームという事もあって、大変興味深く伺う事が出来ました。午後の部は昼食会の後、臼井美穂地区幹事により地区事業報告、さらには地区代表による大会決議報告、地区表彰などがスムーズに行われ、また前記昼食会の最中には、間もなく(5月4日より9日まで)行われるローターアクト海外研修の結団式が挙行され、参加者の決意と抱負を発表し、会場から激励の言葉や大きな拍手が送られました。最後に次年度地区代表が紹介され、地区代表ノミニーの吉田高延君(江南R.A.C.)より挨拶があり、二日間にわたる年次大会もめでたくそして盛会のうちに幕を下ろしました。

本年度当地区R.A.は「YOU CAN MAKE IT!」～君ならできる!～という光村彰浩地区代表の掲げたテーマに従い、地区内9 R.A.C.会員諸君はこれまで大変熱心に奉仕活動を展開してこられました。そしてその体験の中



で指導力や専門知識を磨き、多くの友人をつくってこれました。その一年間の集大成が前夜祭も含めて、この年次大会の素晴らしい成果につながったものと確信致します。また各人の熱意と行動が大きな力となりその目的を成し遂げる事が出来たわけであります。この喜びを胸に、若い人達が将来立派な社会人

として、また地域社会の良き指導者を目指し、大きく成長されますように望んで止みません。



前夜祭プログラム

4/15(土) ■会場/一宮平安殿

司会：松本 光将 アシスタント：鹿島 緑

開 場

オープニング

来賓紹介 一宮RAC会長 谷 栄介

参加クラブ紹介 一宮RAC会長 谷 栄介

歓迎の言葉 一宮RAC会長 谷 栄介

挨拶 R.I.D.2760地区幹事 森 武保

乾 杯 一宮中央RAC会長 森瀬 雅典

クイズ "アクトでドン"

メドレー 夜のヒットスタジオVersion

"アクトでメドレー"

"ELDER BROTHER'z" on

STAGE

総 評 R.I.D.2760ローターアクト委員長 野崎 洋二

あいさつ 地区代表 光村 彰浩

本大会プログラム

4/16(日) ■会場/一宮勤労福祉会館

司会：伊藤 成彦 アシスタント：柴田 英子

(午前の部)

開 場

点 鐘 地区代表 光村 彰浩

開会の辞 実行委員長 浅野 晋市

国歌並びにローターアクトソング斉唱

ソングリーダー 伊東 重幸

来賓並びに特別出席者紹介 地区代表 光村 彰浩

参加RC・RAC紹介 一宮RAC会長 谷 栄介

歓迎の言葉 一宮RAC会長 谷 栄介

一宮中央RAC会長 森瀬 雅典

地区代表挨拶 地区代表 光村 彰浩

挨拶 一宮市長 神田 眞秋

木曾川町長 山口 昭雄

R.I.D.2760ガバナー 蜂谷 弘道

R.I.D.2760青少年活動委員長 宮本 昌幸

祝電披露 名古屋グランパスエイト

記念講演 チームドクター 高松 浩一

(午後の部)

昼食会 海外研修結団式

地区事業報告 地区幹事 臼井 美穂

大会決議報告 地区代表 光村 彰浩

地区表彰・7年表彰 地区代表 光村 彰浩

MVP of ACT表彰 地区代表 光村 彰浩

次年度地区代表紹介及び挨拶

地区代表ノミニー 吉田 高延

次年度地区ホストクラブ紹介及び

ホストクラブ会長挨拶

挨拶 R.I.D.2760RAC委員長 野崎 洋二

謝 辞 地区代表 光村 彰浩

閉会の辞 実行委員長 浅野 晋市

点 鐘 地区代表 光村 彰浩

エンディング

(敬称略)

1995年度 米山奨学生合格者

氏 名	国 籍	進 学 予 定		
		大学名	課程学年	専 攻
李 成 爾	韓 国	名古屋大学	博士 2	電子機械工学
李 星 洙	韓 国	名古屋大学	博士 2	材料プロセス工学
金 熙 洙	韓 国	京都大学	博士 2	霊長類学
クレ・ナワラグ・ゼネビラタネ	スリランカ	名古屋大学	博士 3	計量経済学
クァム・ジョン・テチイ	ガーナ	名古屋大学	修士 1 (合)	国際協力学
文 嬉 眞	韓 国	名古屋大学	博士 2	国際協力学
崔 益 暢	韓 国	名古屋大学	博士 3	土木工学
スアイブ	インドネシア	豊橋技術科学大学	修士 1 (合)	電気電子工学
ポウィジット・カウィーポット	タ イ	豊橋技術科学大学	学部 4	物質工学
朴 鍾 國	韓 国	名古屋大学	博士 2	経営学
鄭 学 載	韓 国	名古屋大学	博士 3	畜産学
ウスカンガ・P.A.カルロス	メキシコ	名古屋大学	博士 2	国際協力学
楊 弋 涛	中華人民共和国	名古屋大学	博士 2	材料プロセス工学
嘉木揚 凱朝	中華人民共和国	愛知学院大学	修士 1	宗教学・仏教学
劉 正	中華人民共和国	名古屋大学	博士 2	電気工学
林 紅	中華人民共和国	名古屋大学	博士 3	応用化学及び合成化学
張 辛 茹	中華人民共和国	名古屋大学	医博 4	放射線医学

青少年交換委員会報告

青少年交換(小)委員会

委員長 林 光雄

ロータリー青少年交換プログラムは、ロータリーの年度の区切に関わりなく進行し、今年も、交換学生の帰国、受入れ等、やがて一年中で最も気ぜわしいホットな季節を迎えることになる。1994～'95年度も地区内各ロータリークラブのご協力を頂いて、派遣学生14名、受入れ学生13名が、それぞれ貴重な留学生生活の体験を得ることが出来た。また今までになく話題も多く、しかも今後の青少年交換に影響を及ぼすと思われる重要な年度でもあったと考えられる。委員会としての話題を報告したい。

1. 帰国学生の体験レポート

派遣学生はオーストラリアからは3月、アメリカ、カナダからは7～8月帰国する。彼らの一人ひとりの体験は、本人はいうまでもなく、ロータリーにとっても貴重な財産である。本年度から、各学生は、帰国後、レポートを委員会に提出することになった。それぞれの貴重な体験を、留学生としての期待と不安のいりまじった心のあやが綴られて、いずれも興味深く読むものの心をうつ。後に続く高校生のためにも有益であり、是非公表を考えたい。

2. 青少年交換のPR

ロータリー青少年交換のPR不足はかねてよりの反省点であり、機会ある毎に委員会で

も話題としてきた。この年度、懸案の美麗な大型ポスターが刷り上がり、各ロータリークラブを通して、それぞれのテリトリー内の公立高校に配布することが出来た。次年度に向かっては、県・市教育委員会の後援をとりつけて更に一般高校生に広く呼びかけることになっている。

3. 「青少年交換の手引き」改訂

従来の「青少年交換の手引き（総合版）」、「交換学生受入れガイドブック」、「交換学生派遣ガイドブック」のそれぞれの内容を大幅に改訂し、一冊の「青少年交換の手引き」として刊行することが出来た。地区内のロータリークラブの内外で大いに役立つことが期待される。また「和英医療ポケット百科」の小冊子を刊行して、派遣学生の便宜に供することが出来た。

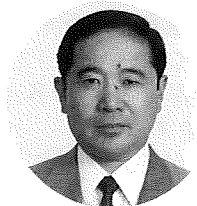
4. 三者懇談会の開催

青少年交換の主役はいうまでもなく学生であるが、交換学生を支えて、その留学生生活を可能にするのは、ロータリークラブ、ホストファミリー及び、受入れ高等学校である。今年度はじめてこの三者の懇談会を開催することが出来た。青少年交換に関して、それぞれの立場から、基本的な考え方、実際の経験、学生への熱意と配慮等、情報と意見を交換し、有益であった。

1994~'95年度 地区委員会委員長 活動を語る

資金委員会

資金委員長を終えて



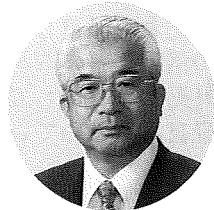
伊藤 洵二
(名古屋中)

本年度伝統ある当地区の地区資金委員長の大役を命じられ、ともすればその責任の重大さに押しつぶされそうな一年ではありましたが、蜂谷ガバナーをはじめ、ガバナー事務所の皆様方の御理解と御協力によりまして大過なく終わることが出来ました。本年度の地区資金につきましては、昨年5月8日に行われました地区協議会の会長幹事部会で御承認いただいて予算案に基づき実行され、実際には年度終了後3ヵ月以内に地区内全クラブに監査を含めその結果を御報告することによりすべてが終了することになっております。本年度は数々の格調高い奉仕事業が行われ、更に阪神大震災という未曾有の大惨事が発生致しましたが皆様方の温かい御協力により地区会計もほぼ予定通り終わるものと見込んでおります。

蜂谷ガバナーをはじめ皆様方の御指導御援助と温かい友情に心から感謝を申しあげ御礼の御挨拶と致します。

拡大委員会

熱意で新クラブ 「名古屋西南RC」が 誕生しました。



鈴木 孝平
(刈谷)

昨年度蜂谷ガバナーのご指導のもとに一年間活動して参りましたが、お陰様で名古屋港ロータリークラブをスポンサークラブとして、名古屋西南ロータリークラブが誕生しました。新クラブ発足に当たっては、長年にわたるスポンサークラブ会員のご努力と熱意が、今回の快挙につながったと思います。特に三木庸行拡大準備委員長を中心とした委員会の活動が大きく貢献した事は申すまでもなく、新クラブ会長をお引き受けになった篠田頼明君、幹事を引き受けられた古川 進君のご熱意、お骨折りは大変なものであり、特別代表を見事に果たされた綱島 彰君の識見と指導力には敬服いたしました。地区拡大委員長としては3月2日、第2回オリエンテーリングで30分間のオリエンテーションを務めましたが、新会員の皆様が大変ご立派で、新クラブがすくすくと成長される事は疑う余地もございません。この成功をロータリー全体の成功としてとらえ、次なる拡大に結びつけていただきたいと思います。

クラブ奉仕委員会

地区協議会では
活発な質疑応答が
展開されました。



服部 国男
(岡崎)

地区協議会、第2分科会のリーダーを命ぜられ、事前に蜂谷G.、森 地区幹事に出席を願い、関係者15名で蜂谷G.の基本方針、出席者の皆様のご意見、今後のクラブ奉仕委員会の運営について打ち合わせをしました。クラブ奉仕の委員長は会長エレクトもしくは副会長等、各クラブのベテランの方々ばかりなので、当委員会は改めて一堂に会し地区委員会を開催することは、時間的にも経済的にも効率のよい方法とは考えられない、との結論になりました。森幹事と機会ある毎に連絡を取り、問題があれば直ちに開催する事にしました。地区協議会の当日は、福田浩三P.G.をカウンセラーとし、拡大を鈴木孝平委員長、会員増強を荻野 修委員長、広報を小山 勇委員長、ロータリーの友を井澤慶一委員長、クラブ奉仕全般を私が説明し、後は活発な質疑応答で終わりました。私個人は要請のあった数クラブに赴き、クラブ奉仕の卓話をしました。

この1年間皆様のご指導、ご協力に厚く感謝しお礼を申し上げます。有り難うございました。

会員増強委員会

純増会員150名(2.5%増)を超え、6,120名の大世帯に。



荻野 修
(新城)

本年度発足にあたって蜂谷ガバナーより直々の御指名を頂いて恐縮した時から1年有余を経過しました。時のたつ早さに今更の様に驚いています。

地区の会員増強に如何なる貢献をしたかを反省する時、内心忸怩たるものがあります。

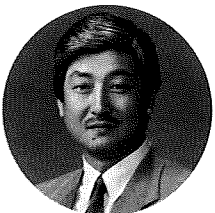
本年度発足時の地区会員数は5,970名でしたが、今や純増会員数が150名を超し、総会員数6,120名に達することが確実になりました。

会員増強は掛け声だけで達成されるものではなく、各クラブの地域でのクラブ活動と連動するものであることを思うと、150名、約2.5%の会員増強の意義は誠に大なるものがあります。

今後はますます良き会員増強の気運が盛り上がり、ロータリークラブの和と、新風による礎が一層強固なものとなり、永久にロータリー活動が地域に根づいた隆盛を遂げることを祈って止みません。

広報委員会

ロータリーと地域社会とのはしわたし役を担って



小山 勇
(名古屋西)

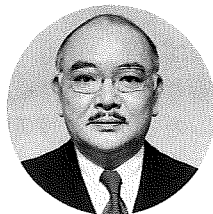
何か書けと言われても、取り立てて何もしていないので書きようもない。誠に申し訳ない限りです。各クラブでの広報委員会は、それなりの活動の場が与えられ、責任もあるが、地区委員会としてのそれは、いかにあるべきかと考えているうちに1年経ってしまったというのが実状です。

もっとも、就任の際「新聞ダネになりそうなことはご連絡下さい」とお願いしたこともあり、パラオ訪問団に同行記者を派遣したり、ナカムラ同国大統領の来日、ローターアクトの活動などの取材報道、さらに阪神大震災義援金の受付けなど、新聞社勤務を利用して、極めて手軽に「広報活動」を行ったことで、自分自身を慰めているところなんです。

こんな私ですが、次期も広報委員長をやれとのこと。先輩諸兄のご指導、ご協力を得て前年の罪滅ぼしのつもりで、頑張ってみようと思っています。

職業奉仕委員会

常に私達の身近にある「職業奉仕」。



岡本 纓二
(名古屋名東)

ロータリーでは何事も、特に職業奉仕に関してはあまり難しく考えない方がよいといわれている。しかし実際に地区委員に委嘱されるといういろいろと考えざるを得ない。そして期末になると反省すべき点ばかり思い出され汗顔の至りである。当地区職業奉仕委員会では何回かの委員会を開いて蜂谷G.、田中P.G.のお知恵をおかりして「地区職業奉仕委員会研修会」を'95年3月18日に約130名の参加をえて有意義に開催できた。この詳細は別に報告したが、要するに「職業奉仕」というのは私達の身近にころがっている事であって、特別なものではないことをPRしたかったのである。委員長としては当地区5RC、他地区2RCで「職業奉仕」を中心とした例会卓話をさせていただき大変勉強になった。R.I.から莫大な資料が送られてくるが、決まり文句のように「地区委員長の強力な指導力に期待する」とある。しかし、職業奉仕に関しては会員に情報を伝える事はできても、指導してどうこうという事はできない。他人の家に土足で入るわけにはいかない。このところがロータリーとして、また地区委員会としてどう対処すべきか問題であると再認識した。何にしてもこの年度に地区職業奉仕委員長として満足できる成果がなかったことを反省している。

社会奉仕委員会

とりわけ印象深い3つの事業。



神谷 邦雄
(豊橋北)

今ロータリー年度における当地区社会奉仕活動は社会の大きな歴史的転換期に遭遇しつつある中で、21世紀に向けて質的な変化を求められた年でありました。特にわが国の政治や経済の仕組みが大きく変化しようとしており、その為に物の価値観の変化に対応してロータリーの社会奉仕も変化する事が必要になりつつあると思われます。今ロータリー年度は当地区としてパラオ共和国の独立に合わせてのソーラーシステムの贈呈。第49回わかしゃち国体に対する名古屋19ロータリークラブの援助活動、そして国体後のパラリンピック後夜祭に対する地区各クラブの援助活動等の大きな事業をなしとげる事が出来ました。これもひとえに蜂谷ガバナーの力強いご指導と、地区内各クラブ会長さんをはじめ、クラブ社会奉仕委員長、環境保全委員長等々会員皆様方のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

環境保全(小)委員会

当地区独自の2大事業を推進。



片山 主水
(名古屋東南)

環境保全週間の6月2日に予定した講演会を終えないと、振り返る気分が出てこないのですが、一応振り返ってみますと、次の2つはどうしても挙げなければならないと思います。

第1は、当然パラオに対するソーラーシステム100台の寄贈の件ですが、ガバナーの強力な牽引による地区内クラブ多数の協力と、ロータリアン全員参加のユニークなメイクアップニコボックス協力金方式による事業であったことは、記憶に留めておいていいことだと思います。

第2は、当地区独自の5月30日から6月5日までの1週間の環境保全週間を設定したことです。

5月30日というのは、当地区から始まった由緒の深いゴミゼロ運動の当日ですし、6月5日は環境基本法が定める「環境の日」です。地区による環境保全週間の設定は、環境問題について関心と理解を深めるために、末永く続けていってもらいたいと願っているところです。

ご協力有り難うございました。

国際奉仕委員会

皆様のご協力を仰いで、年間計画がスムーズに遂行されました。



吉村 卯一郎

(名古屋名北)

昨年、地区国際奉仕委員長の指名を受けて、さて何を行って良いのか戸惑いましたが、地区協議会で勉強してから多少方向性がつかめてきました。そして昨年9月14日に第1回の地区国際奉仕委員長会議を開催して、青少年交換、世界社会奉仕、国際友好の三委員会の協力の下に年間計画をまとめて動き出しました。お陰様で各委員会とも年間計画の実施がスムーズに行われ、ホッとしております。

国際奉仕の計画、実施は区切りがなく、いわば半永久的なものです。従って年度末で終了という訳には参りませんので、委員の方達は継続的に指名されておられる方が多いのでありますが、私も来年度は引き続き国際奉仕委員長を委嘱されました。まことに至らぬ者ではありますが、よろしくお引き回しの程お願い申し上げます。

青少年交換(小)委員会

相互理解をより深める初の『三者懇談会』開催。



林 光雄

(名古屋西)

当委員会の組織を新しく、総括、事務局、アメリカ担当、カナダ担当及びオーストラリア担当と、それぞれ役割を分担して各委員が責任を持ちつつ一致協力して取り組むことに決め、委員会活動が充実した幅広いものになったことは誠に喜ばしく思います。

この一年間、蜂谷ガバナー、森地区幹事、吉村国際奉仕委員長はじめ、関係各位の皆様方が当委員会にお寄せいただいた深いご理解とご支援に心より厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、初めての試みであった「ホストファミリー」、「留学生をお世話いただく各学校の先生」と「ホストクラブの国際奉仕委員長」との『三者懇談会』も開催出来ました。その上、今年度より「愛知県教育委員会」及び「名古屋市教育委員会」のご後援もいただく事になり、1995~'96年度の活動が一層すばらしい成果をおさめるものと期待しております。

世界社会奉仕(小)委員会

活発さを増す当地区W.C.S.にR.I.本部、他地区で高い評価



牧 真

(岡崎南)

今年度も蜂谷ガバナーはじめ地区全会員の皆様の絶大なるご支援をいただき、目標どおりのW.C.S.活動を終える事が出来ました。心より御礼申し上げます。

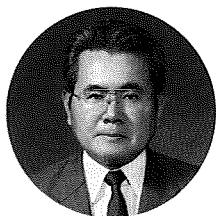
当地区の全会員一人当たり1,000円ずつ拠出頂きました地区W.C.S.活動資金605万円は、フィリピン、マニラ3800地区内に一昨年設立された「愛知ロータリー奨学基金」、そして、タイ・チェンマイ3360地区に一昨年設立された「日タイ愛知ロータリー奨学基金」に贈呈いたしました。

地区内全クラブに参加して頂いているW.C.S.活動も年々活発になり、フィリピン、タイ両国を中心に8ヵ国迄に広まり、当地区W.C.S.活動はR.I.本部及び他地区で非常に高く評価されるまでになっています。

来年度も地区内全クラブ、全会員の皆様の御協力を心よりお願い申し上げます。

国際友好(小)委員会

「ロータリー友情交換」に、
当地区が正式に
R.I.に登録されました。



伊藤 公正
(岡崎)

昨年度に引き続き、今年度も委員長という大役をおおせつかり、早くも一年が過ぎ去ろうとしています。国際友好委員会の役割は、ロータリアン同士の交流活動を通じて国際理解、世界平和に貢献しようというもので、その情報を提供する事が主な仕事でありました。幸いに、当地区は海外ロータリークラブとの交流、提携が大変さかんな地区で、73クラブ中40クラブが海外54クラブとの交流があるという実態が、'95年1月の調査で分かりました。調査に当たっては、各クラブから大変親切な御回答をいただき、厚く御礼申し上げます。

また世界的なシステムであるロータリー友情交換も、地区内2/3のクラブから御賛同をいただき、正式に当地区がR.I.に登録されたので、次年度はせいぜい御利用いただきたく思います。

今年一年間本当にお世話になりました。

青少年活動委員会

地区の青少年活動を
促進するI.A.C.と
R.A.C.の結成



宮本 昌幸
(岡崎南)

青少年活動は当地区に限らず国内外においても、ますますその重要性が高まり、その中でも青少年活動の原動力となっているI.A.C.、R.A.C.を拡大発展することにより、なお将来にわたって効果的余力の存在を十分承知し、積極的に活動の推進を図ってまいりました。

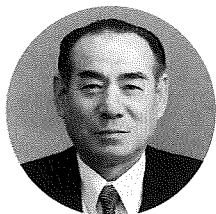
とくに蜂谷地区ガバナーのご熱心なご指導とご協力により、今年5月に至り名古屋第2分区内においてI.A.C.とR.A.C.の結成準備が整い、近く設立の運びとなりました。これによって当地区青少年活動に大いなる活力を与えることにもなり、今後ますます活動の活発化が期待されることになりました。

このほか青少年育成の一環事業として実施致しております海外研修派遣についても国際理解と親善に著しい成果をあげており、友好の推進および教育資質の向上に役立つものとなりました。

これからの時代を担う青少年の育成に対し、なお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

インターアクト(小)委員会

日本へ
ハワイの青少年を
招待。



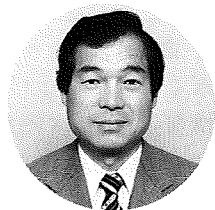
松前 憲典
(一宮中央)

平素は、I.A.C.の育成に、深いご理解と多大のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

高澤パストガバナーと宮本青少年活動委員長のご提案で、日本からハワイへ研修に行くばかりでなく、「米国の青少年を日本へお招きしては」というご発言があり、石川次期ガバナーより、ハワイ研修のおり、先方の意向を打診するよう指示を受けました。ハワイのホームステイを引き受けている家族は、日本へ是非行かせたいと強い要望がありました。ホノルルのインターナショナルホスピタルセンターのバーバラ女史より、高校生のボランティア活動をご援助下さる日本のロータリーの方々のご熱意に敬意を表しますと述べられ、平成7年7月10日～25日まで、ハワイの青少年5名の来日が決まりました。心から歓迎を致したいと思います。蜂谷ガバナーのご尽力で2つのI.A.C.が近く誕生する予定であります。

ローターアクト(小)委員会

年初の「3項目の方針」に沿って、積極的に活動。



野崎 洋二
(名古屋瑞穂)

私共地区R.A.委員会では、次のごとく活動方針を立て積極的に活動して参りました。

- ①当地区のR.A.C.の現況に鑑み、R.A.C.の拡大に努力する。
- ②当地区内9つのR.A.C.の一層の活性化に努力する。
- ③提唱RCも含めて、ロータリアンのR.A.に対する認識不足を解消する様に努力する。

〈報告〉

- ①については幸い蜂谷ガバナーのご熱意により、待望の新クラブ誕生の気配が生まれて参りました。
- ②は各提唱RCの深いご理解と温かいご支援により会員増強等が順調に図られ感謝しています。
- ③については9月の青少年活動月間中に6つのRCにて卓話を実施し、PRに努めました。

ライラ(小)委員会

ハツラツとした若者たちに接し、やりがいのある一年でした。



岡戸 麻一
(東知多)

いつの時代でも青少年指導の重要性について言われていますが、今こそロータリーが提唱しているライラの積極的な推進に、正に最重点課題として取り組む必要があるように思います。

当地区のライラについての関心度は少しずつ高まってはきましたが、地区として更にライラについての情報提供をして、各クラブに認識を深めていただくことが必要です。

本年度の第3回ライラセミナーには、受講生110名を含め250名の参加を得て、青少年と寝食を共にして友愛を深めながら、ロータリーの精神と指導力の大切さを伝え、また、青少年指導者に選ばれた若者たちのはつらつとした逞しい発言に接することができ、やりがいのあった一年でありました。

末筆ながら蜂谷ガバナーはじめ関係委員会各位の温かい励ましと、ご協力に心から感謝申し上げます。

ロータリー財団委員会

財団寄付もおかげさまで、目標達成の見通しです。



星野 充
(一宮)

蜂谷G.より年度始めに「財団プログラムの推進を重点事業に」との認識を示され、大筋で財団事業を理解しているつもりですが緊湊一番スタートラインに立った次第です。

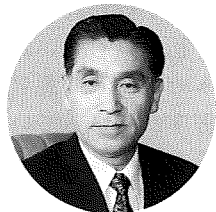
5月の地区協第7分科会でのセミナー、2月の名鉄グランドホテルでの財団固有のセミナー、6月の奨学生選考会、数次にわたる学友会集会、これらのすべてが極めて有効適切に運営され、財団寄付も順調な推移で目標達成の手応え十分の感じです。

こうした成果はひとえに地区ロータリアン、各クラブ財団委員長、地区財団委員会委員各位の特段のご支援ご協力の賜物で、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

財団運営上画期的変更であったシェアシステム導入初年度の神戸年度に財団委員長を承り、宮地年度、蜂谷現年度と3期努めるに及び、委員長であったが故に数多くの教訓と奉仕実践の喜びを肌で得たことに心底感謝していることを付言いたします。

財団奨学金(小)委員会

シェア・システムの
志願者増大。本年
度合格者は9名に。

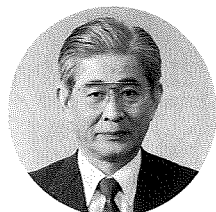


小出 忠孝
(名古屋東)

90～'91年度地区R財団奨学金委員長に指名されて以来6年間、ロータリー活動の中で最も重要なプログラムの委員長を務めさせて頂いた事を大変光栄に思っている。財団奨学金制度は昨年度より、新らしくシェア・システムが導入され、従来の1年留学の他、2～3年留学し学位取得をめざす制度が出来た事は、奨学金を有効かつ充実に使用できる点から、大変喜ばしい限りである。一人でも多くの人にこの奨学金を利用して頂くために、当地区ではマルチイヤーの方は2年留学に限定しているが、会員の皆様のご協力により、2年留学志願が増加し、その結果2年留学の合格者も昨年の4名から、本年度は9名に増加させた。しかし1年留学合格者10名と併せ、本年度19名の合格者の中、男性は1名のみで、他の18名はすべて女性であった。男女はほぼ同数が望ましいと考えられるので、会員の皆様から優秀な男性の奨学生候補者を一人でも多くご推薦頂ければ有難いと思っている。

財団学友会(小)委員会

地区学友名簿作成
に苦勞しました。



矢島 茂
(名古屋守山)

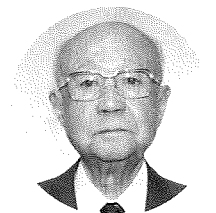
この一年間、財団奨学生のお世話をしてまいりましたが、蜂谷ガバナー、宮地パストガバナー（財団カウンセラー）はじめ財団委員会各位から国際親善奨学生としての使命と心構えについてご指導をいただき、また、留学の先輩である学友の皆さんから数々の助言を得たことに対し、心から感謝申し上げます。

この年度の新規事業としては、出発する財団奨学生の身分証明を兼ねて2色和英両面印刷の名刺を授与することに致しました。

尚、大変苦勞したことは、当地区学友名簿を最新にして正確なものにすることでした。特に、R.I本部のコンピュータインプットの名簿の訂正には苦勞しまして、その調査に時間がかかりましたが、3月23日にR.I本部のR財団コーディネーター、リンダ様あてにお届けすることができ、重い肩の荷を下ろした次第です。

米山記念奨学会委員会

本年度「米山」活動
の思い出。



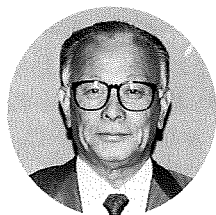
米田 春雄
(岡崎)

地区協議会第八部会において各クラブの米山委員長さんに米山記念奨学会についてのご理解をいただき、更に9月開催の米山委員長会議で新しいデータに基づく寄付金明細等について深く認識していただきました。このときのスピーチは、新たに学位を取得した俞成根君と現役のお二人にお願いしました。いずれも蘊蓄ある面白いお話しでした。同じ9月、カウンセラーと学生の会議を開き、地区大会に出席の準備をしました。12月に見学会と年末忘年懇親会を開催。本年2月期間終了学生の歓送会と指導教官感謝の夕べを開催し、6人の諸君が学位取得を発表した輝かしい一時でした。本年度スケジュール外として蜂谷ガバナーの特別のご好意で、念願でした静岡県駿東郡長泉町の米山梅吉記念館を多数の学生とその家族、カウンセラーの皆さんと共に見学することができました。

また、ロータリアンの皆さん、米山へのたくさんのご寄付をありがとうございました。

ロータリーの友委員会

“職業の鉄人・人生の達人”に駄文はない!



井澤 慶一
(名古屋和合)

まず大過なく一年にわたる「ロータリーの友」地区委員長の職責を果たし得たことを喜んでおります。蜂谷ガバナーの御期待にお応えできたかどうか分かりませんが、私としては心おきなくやらせていただきました。色々お世話になった関係者のみなさんに改めて感謝したいと思います。

隔月上京して全国の地区委員(34名)が参加して行われる「友」委員会ではいろいろ勉強になることが多く、私自身も大いに触発されました。それにしても“読まれざるベストセラー”の悪名をとった「友」も最近では内容の充実とともに読書率が高まっているようで喜ばしい限りです。“職業の鉄人・人生の達人”の書いたものに駄文はありません。ただ気掛かりなのは「友」製作の全国会員名簿の売れ行きがもうひとつぱっとしないことであります。よろしく願います。





豊橋ローターアクトクラブ創立20周年記念式典

■1955年5月14日(日) 豊橋のんほいパーク(野外コロシウム)

■テーマ:『生命』～限りない可能性の中で～

地球環境勉強会

例会中の短い時間を利用して、「生命～限りない可能性の中で」をテーマに、生命の不思議さや自然の営みの精巧さに焦点をあてた勉強会を行った。特に、森の偉大さ、水の大切さ、植物の役割などを知ることにより、人が自然の恩恵を受け生かされていることなどを学んだ。

またこれからの勉強会のまとめとして、人が生きるためにあらゆる生命を脅かさずにはおられない現状などを考え、これからの私達の課題でもある「共生」について各人の考えを作文にまとめた。

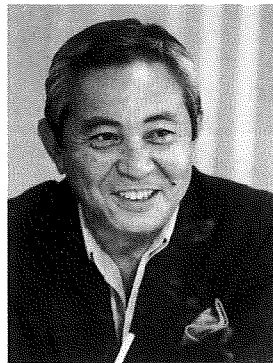
イベント…ふれあいカーニバル

会場を「豊橋のんほいパーク」という野外で行うことで、テーマに即した式典及びイベントを実施。イベントは一般の方との触れ合いの中で、共に自然を体感し、また豊橋ローターアクト活動を広くPR。また、豊橋のメイン施設でもある「豊橋のんほいパーク」を、他RC及びR.A.C.会員にPRした。

- 日 時: 平成7年5月14日(日)
12:45～15:00
- 場 所: 豊橋のんほいパーク「野外コロシウム」
- 内 容: ウォークラリー
きき水・絞り染め・リサイクル紹介
動物クイズ ○×クイズ
よもぎ餅つき

記念講演

地球環境勉強会の教科書となった倉本 聰氏の著書「ニングル」には、森の偉大さ、厳しさ、優しさ、その大切さが描かれている。さらに人として本来あるべき姿、人としてすべきことは何かなどが問われている。氏の考える自然との共生を、講演会という形で一般公開することは、地域の人々の心に自然に対する優しい気持ちが芽生えるための種を植える活動であると考えます。



- 講 師: 倉本 聰
(くらもと そう)
- テーマ: 「北海道で考える」
- 日 時: 平成7年6月2日(金)
午後7時～
- 場 所: ライフポート 豊橋

豊橋RAC創立20周年記念式典プログラム

第1部 (敬称略)	
式典	司会 原瀬 敏幸
	アシスタント 今川 真里
豊橋RAC会長挨拶	豊橋RAC会長 八木 英章
豊橋RC会長挨拶	豊橋RC会長 三浦多久二
来賓祝辞	豊橋市長 高橋アキラ
	地区ガバナー 蜂谷 弘道
	地区バストガバナー 高沢 隆
	地区ローターアクト委員長 野崎 洋二
豊橋RAC OB挨拶	豊橋RAC OB代表 花田 邦司
20周年記念事業発表	実行委員長 匹田 康裕
映 画	『四季 (シーズズ)』
	豊橋市自然史博物館
第2部	
『ふれあいカーニバル』～地球環境感謝祭～	
野外コロシウム	

来賓・特別出席者 (敬称略・順不同)

豊橋市長	高橋アキラ	豊橋ロータークラブ会長	三浦多久二
豊橋総合動植物公園管理監	加藤 潤二	豊橋北ロータークラブ会長	平尾 淳
豊橋市自然史博物館事務長	山田 泰三	豊橋南ロータークラブ会長	塩之谷 昌
豊橋商工会議所会頭	神野 信郎	豊橋ゴールデンロータークラブ会長	早川 潔
豊橋青年会議所理事長	佐藤 元英	豊橋RAC OB・豊橋ロータークラブ青少年活動委員長	花田 邦司
豊橋善意銀行事務局長	高松 徹	豊橋RAC第3代会長	野場 敏孝
東愛知新聞社社長	藤村 圭吾	豊橋RAC第7代会長	高山 景一
東海日日新聞社社長	長谷川哲男	豊橋RAC第9代会長	森下 芳則
地区ガバナー	蜂谷 弘道	豊橋RAC第11代会長	杉浦 康介
地区バストガバナー	高沢 隆	豊橋RAC第12代会長	小林 孝芳
地区東三河分代理	梅村 東	豊橋RAC第13代会長	野尻 佳広
地区青少年活動副委員長	小保川二郎	豊橋RAC第14代会長	森下 知保
地区ローターアクト委員長	野崎 洋二	豊橋RAC第16代会長	萩原 恒文
地区ローターアクト委員	佐治 博夫	豊橋RAC第17代会長	紅林 秀児
地区ローターアクト委員	青木 公貞	豊橋RAC第18代会長	酒井 康文
地区ローターアクト地区代表	光村 彰浩		

第2760地区ニュース・その他



【R.I.日本支部からのお知らせ】

■ロータリー適用相場変更について

国際ロータリー日本支局財務室

国際ロータリー世界本部より本年6月1日から総ての振込に対する適用相場（ロータリーレート）を1ドル80円（現行84円）に変更する旨来電がありましたのでご連絡申し上げます。

■名称変更について

国際ロータリー日本支局
支局長 **大島 四郎**

「BRANCH OFFICE」の呼称が「SERVICE CENTER」へと変更されることが理事会にて決定されました。これに伴い7月1日より「国際ロータリー日本支局」は「国際ロータリー日本サービス・センター」に名称変更されますのでお知らせ致します。

尚、住所および各室の電話・ファックス番号は以下の通りです。

国際ロータリー日本サービス・センター

〒160 東京都新宿区新宿1-36-12
サンカテリービル1階

■資料室・他 Tel : 03-3355-5391 Fax : 03-3226-4606

■奉仕室 Tel : 03-3355-5383 Fax : 03-3226-4606

■財務室 Tel : 03-3355-5425 Fax : 03-3226-4606

田原パシフィックRC

FAX番号が変わりました

田原パシフィックロータリークラブ事務局のFAX番号が6月9日より、下記の番号に変更になりました。

新FAX番号：**(05312) 2-7120**

おめでとうございます

新ポール・ハリスフェロー

《4月下旬分》

永津 五郎(尾張中央RC)
須藤 良行(知多RC)

MAKE-UPニコボックス

ご協力ありがとうございます。

ご協力頂きました金額は、6月22日現在、総額20,936,398円となっております。



ATTENDANCE REPORT

R.I.2760地区 4 月度 出席報告

分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数			分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数		
				1994年 7月1日	当 月	増 減					1994年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	100.00	4	48	52	+4	西尾張分区	あ ま	99.52	4	100	103	+3
	半 田	99.60	4	72	74	+2		尾 西	98.33	4	59	60	+1
	半 田	99.24	4	65	69	+4		一 宮	99.41	4	92	88	-4
	東 知	92.98	4	58	59	+1		一 宮	98.79	4	86	83	-3
	常 滑	96.47	4	67	67	0		稲 沢	97.34	4	66	66	0
	東 海	98.53	4	66	68	+2		西 井	98.40	4	65	65	0
	計	97.80	—	376	389	+13		尾 張	100.00	4	49	48	-1
名古屋第一分区	名 古 屋	96.83	4	225	237	+12	東三河分区	津 一	98.76	4	93	91	-2
	名 古 屋	97.33	4	122	125	+3		宮 中	99.63	4	71	69	-2
	名 古 屋	100.00	3	126	133	+7		計	98.91	—	681	673	-8
	名 古 屋	100.00	4	98	101	+3	西三河第一分区	渥 美	92.55	4	66	66	0
	名 古 屋	99.35	4	157	160	+3		蒲 郡	95.23	4	79	81	+2
	名 古 屋	97.83	4	148	154	+6		奥 三	93.33	4	41	39	-2
	名 古 屋	97.65	4	101	98	-3		新 河	93.26	4	64	63	-1
	名 古 屋	100.00	4	74	81	+7		田 城	93.56	4	75	71	-4
	名 古 屋	97.40	4	82	96	+14		豊 原	97.99	4	131	130	-1
	名 古 屋	96.09	3	82	85	+3		豊 橋	100.00	4	81	86	+5
	名 古 屋	98.70	4	73	77	+4		豊 橋	99.52	4	114	114	0
	名 古 屋	94.55	4	0	46	+46		豊 橋	97.49	4	86	88	+2
	計	97.98	—	1288	1393	+105		豊 川	97.76	4	77	80	+3
名古屋第二分区	名 古 屋	96.99	4	68	69	+1		豊 川	96.99	4	68	69	+1
	名 古 屋	98.69	4	112	115	+3		田原	93.46	4	66	66	0
	名 古 屋	98.59	4	114	116	+2		計	95.93	—	948	953	+5
	名 古 屋	99.67	4	79	77	-2	西三河第二分区	岡 崎	100.00	4	116	114	-2
	名 古 屋	98.83	4	68	66	-2		岡 崎	99.27	4	81	84	+3
	名 古 屋	96.88	4	84	87	+3		岡 崎	100.00	4	76	78	+2
	名 古 屋	99.26	4	73	69	-4		岡 崎	99.52	4	111	112	+1
	名 古 屋	100.00	4	106	116	+10		岡 崎	98.69	4	93	98	+5
	計	98.61	—	704	715	+11		豊 田	98.32	4	94	93	-1
東尾張分区	犬 山	100.00	4	77	83	+6		豊 田	96.78	4	103	104	+1
	岩 倉	95.84	4	46	44	-2		豊 田	100.00	4	30	29	-1
	春 井	100.00	4	82	84	+2		計	99.07	—	704	712	+8
	小 牧	97.54	4	72	71	-1	西三河第二分区	安 城	97.22	4	92	95	+3
	江 南	99.64	4	74	74	0		碧 南	98.77	4	83	84	+1
	名 古 屋	99.27	4	71	71	0		一 色	100.00	4	56	54	-2
	尾 張	99.28	4	70	70	0		刘 谷	100.00	4	95	92	-3
	瀬 戸	100.00	4	81	83	+2		知 立	99.52	4	54	56	+2
	瀬 戸	99.22	4	67	68	+1		西 尾	97.28	4	81	80	-1
	豊 山	97.85	4	62	59	-3		西 尾	90.35	4	59	59	0
	計	98.86	—	702	707	+5		高 浜	100.00	4	47	52	+5
	計	98.86	—	702	707	+5		計	97.89	—	567	572	+5

地区内クラブ数73R.C. '94.7.1会員数5970名 増加会員数+191名
 当月末会員数6114名 減少会員数-47名
 当月平均出席率...98.13% 差引純増会員数...+144名

1994～'95

D-2760

GOVERNOR'S



会長エレクト研修セミナー

'94年4月14日

ALBUM



'94年3月10日～18日

国際協議会（カリフォルニア・アナハイム）にて。

“BE A FRIEND”をテーマに掲げる'94～'95R.I.会長、ビル・ハントレー氏と固い握手を交す。



台北における第85回 R.I. 国際大会最終日（'94年6月15日）の本会議で地球環境保全と教育について意見を述べ、会場の共感を得た。



地区協議会は、'94年5月8日、常滑市民文化会館において開催され、活発な発言が飛び交い、新年度への熱意を感じさせるものであった。



地区大会。'94年10月29日～31日



I.M.始まる。'95年2月11日～4月2日にかけて8分區で開催。



'94年7月14日の名古屋守山RCを第1回に、全73RCの公式訪問がスタートした。

年度の一大事業としてパラオ共和国にソーラーシステムを寄贈。ナカムラ大統領には地区大会にご来駕いただき、ガバナーはじめ一行13名は、'95年3月2日～6日、同国を表敬訪問した。



R.I.創立90周年の今年、名古屋RCは70周年。'95年2月7日、式典を開催。

また、3月9日、当地区73番目のクラブとして名古屋西南RCが誕生した。